

心臓超音波検査

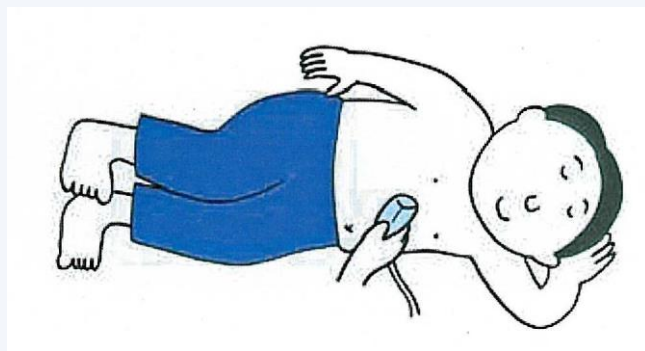
検査方法

人間の耳には聞えない超音波を利用して、心臓の大きさ、動き、血液の流れに異常がないかを調べる検査です。

心臓弁膜疾患、心筋の肥大や拡張、先天性心疾患、心筋梗塞、それに伴う合併症の有無が分かります。

検査は技師がプローブを患者さんの胸にあて、心臓の画像をモニターに映して行います。

この検査は、痛みも副作用もありませんので、ご安心下さい。



検査時間

20分～40分です。

その他・注意事項

- 上半身を広く開けられる服装でご来院下さい。
- ご都合で来院できない場合は、必ず予約センターへご連絡ください。
- 安静維持が困難な場合、検査ができないことがあります。
- 以下の精密検査も行っています。

経食道心臓超音波検査：食道に超音波の出る細い管を挿入し、先天性心疾患や心臓弁膜症の評価を行う。

負荷心臓超音波検査：点滴をしながら行う薬物負荷検査とペダルを漕ぎながら行う運動負荷検査がある。